

梅雨が明け、本格的な夏がやってまいりました。今年の夏は、太平洋高気圧とチベット高気圧の二つの高気圧で平年より気温が高くなるようです。皆さま、お元気でご活躍のことと思います。日本にとっては2010年以来、三度目となるノックアウトステージでの戦いがいよいよ始まります。もうすでにメッシのアルゼンチンもロナウドのポルトガルも破れています。3日午前3時、対戦相手のベルギーは優勝候補の筆頭と目されるブラジルに匹敵するほどの戦力を誇り世界ランキングは3位。グループステージの戦いでは32チーム中最多の9得点を奪って3連勝を達成している。ルカク、デ・ブライネ、メルテンスアザール等を相手に、西野マジックで強気に戦えば、勝利の女神が日本に微笑んでくれそうな気がします。がんばれ 日本！

2級学科試験の年2回化

本年度より2級施工管理技術検定の学科試験が年2回になりました。7月には2回目の申込受付が始まります。

	1回目 (学科)			2回目 (学科・実地)		
	申込受付	試験日	合格発表	申込受付	試験日	合格発表
土木 ※1	3月7日～22日	6月3日	7月9日	7月9日～23日	10月28日	来年1月10日 (学科のみ) 来年2月5日 (学科・実地)
建築	3月9日～23日	6月10日	7月6日	7月6日～20日 ※2	11月11日	来年1月25日 (学科のみ) 来年2月1日 (学科・実地)
電気工事	3月9日～23日	6月10日	7月6日	7月6日～20日 ※2	11月11日	来年1月25日 (学科のみ) 来年2月1日 (学科・実地)
管工事	3月7日～22日	6月3日	7月9日	7月17日～31日	11月18日	来年1月18日 (学科のみ) 来年2月22日 (学科・実地)
造園	3月7日～22日	6月3日	7月9日	7月17日～31日	11月18日	来年1月18日 (学科のみ) 来年3月6日 (学科・実地)

	1回目 (学科・実地)			2回目 (学科)		
	申込受付	試験日	合格発表	試験日	申込受付	合格発表
建設機械	3月2日～4月2日	6月17日(学科) 8～9月頃(実地)	8月2日(学科) 11月21日(実地)	9月20日～11月2日	来年1月20日	来年3月8日

※1 2級土木施工管理技術検定は、種別「土木」のみ、学科試験が年2回実施されます。「鋼構造物塗装」「薬液注入」は年1回の実施とし、2回目(学科・実地)の試験日に実施されます。

※2 平成29年度学科・実地同日受験者のうち学科試験合格者については、申込受付の時期が異なりますので、ご注意ください。

<試験実施機関> 詳細は、試験実施機関にお問い合わせ下さい。

【土木・管工事・造園】一般財団法人 全国建設研修センター URL: <http://www.ictc.jp/>

【建築・電気工事】一般財団法人 建設業振興基金 URL: <http://www.kensetsu-kikin.or.jp/>

【建設機械】一般社団法人 日本建設機械施工協会 URL: <http://www.icmanet.or.jp/>

(佐藤)

知っちょい得

結局、孤独で裕福な高齢者ほど狙われる危険性が高いということになりますので、可能であれば周りの家族が高齢者とのコミュニケーションをとって見守っていくことや電話等の機能を使って電話が通じる相手を制限する等により危険な相手との接触を防ぐことが重要になっていくと思われま。そして、高齢者が認知症等により資産の管理が出来なくなった場合、特に身近に支援できる身内がない場合は成年後見制度を使うことを検討する必要があります。ただし、その場合は本来あるべき高齢者本人が自由に自己の財産を使う権利を制限することにもなりますし、後見人等に支払う報酬等手続きにかかる費用の負担も発生しますので高齢者の状態や資産状況等を見て慎重に検討する必要があります(続く)。

弁護士 渋谷和洋

千代田区六番町3番地1協和ビル6階

建設業Q&A

Q. 解体工事業の経過措置とは？

A. 国家資格者がその資格において、解体工事の営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者となるためには、「登録解体工事講習」の受講又は解体工事に係る実務経験が必要となります。

ただし、経過措置として平成33年3月31日までの間は、とび・土木工事業の技術者(既存の者に限る)が解体工事業の監理技術者等となることが認められています。(藤田)

団扇(うちわ)の起源

団扇(うちわ)の起源は古く紀元前3世紀の中国(周の時代)からと言われております。

日本では万葉集にも歌われ、正倉院や京都太秦の広隆寺に残されており、奈良平安の貴族の間で、涼をとるばかりではなく、日光の陽射しをさえぎるために顔を隠したり、飾り物などとして用いられたと伝えられております。

平安時代になって扇子が流行し、一時うちわが使われなくなった様ですが、戦国時代以降、武将たちの陣中での軍配うちわに復活し、江戸時代になってから竹細工が盛んになり、紙の製造技術の発達と共に庶民の生活の中に様々な形で活用される様になりました。

(藤田)